

石狩平原 C.C. 競技委員会 提案資料

1. 各競技会の担当競技委員割り振り

- ・競技会によっては、競技会受付に競技委員がいない。
競技を終えて上がってきてもアテストする競技委員がいない。
- ・月例後のエチケットフェローシップ委員会ハウスグリーン委員会と同様に競技委員会を交互に開催し、競技委員会で対応を話し合う。

競技会予定表に競技委員の当番が表記されています。

それを見て疑問に思ったのが、競技会によっては「参加競技委員が当番」の表記。

いずれの競技委員も参加条件に該当しない「競技会」があるのに、「参加競技委員が当番」と表記されている。

例えば、先日のミッドシニア杯では、クラブハウスのロビーには、六つのコンペ用のテーブルが並んでいました。

各テーブルには、そうそうに幹事さんが来てコンペの受付段取りをしていました。

が、一つだけ誰もいないテーブルが一つ。それが石狩平原の公式競技「ミッドシニア杯」のテーブルです。

倶楽部側の方が立つわけではなく、他コースをホームコースとする参加者が来ました。

この受付方法ではまずいと、私たちはグリーンジャケットを着てそのテーブルに立ち、プライベートコンペの受付と並行して競技会の受付をすることにしました。

その時のミッドシニア最初の参加者に、「あなたのホームコースでの受け付けはどう対応していますか？」問うと。「公式戦で受付に競技委員がいないのは、考えられない」と当然のように言われ「競技委員会の中でよく話しあった方がいいですね」と助言を頂きました。

石狩平原 C.C.は会員制の倶楽部ではないので、多くのビジターの方が来場します。

いろいろな立場の方が来場し、見ているところはしっかりとみていると思います。

石狩平原 C.C.のすべての公式競技会は、競技委員が動くべきと考えます。

2. マニュアル作成

- ・受付時、アテスト時など、トラブル発生時の対応のマニュアル作成
(当日朝のキャンセル、遅刻等の対応等)
(アテスト時、エリア方式での対応、ルールでの問題の対応等)

石狩平原 C.C.の公式競技会は、競技委員で運営されていますが、競技委員全員が物事に対し同じ対応をしなければなりません。そのためにも、マニュアルが必要と考えます。

3. エリア方式の説明

- ・今年からエリア方式を採用しているが、会員にしっかりと説明されていない。
- ・案内説明表示を設置（アテスト完了までエリアを出ない。帽子をとる等）

今年から、「競技会プレー終了後のアテスト時、エリアを設定してそのエリア内でアテスト完了まで待機していると、誤記等が発生した場合のその箇所を訂正ができる」また、エリア内脱帽も競技会参加者に周知されていないので説明が必要と考えます。先月の月例会では、脱帽について「何の意味があるのだ！」と不満を口にする会員もあり、それを願う根拠の説明が必要と感じました。

4. スコアカード及び成績表作成の件

- ・競技委員会開催の競技会の成績表の作成は競技委員会が行う。
- ・氏名の難しいよみ方の確認する（表彰式などで、失礼がないように）

現在、石狩平原 C.C.は一般のコンペの成績表は、各コンペ側で書きます。それにもかかわらず、また公式競技会が競技委員会主催ならば公式競技会の成績表も倶楽部側に負担をかけないように競技委員会で作成するべきと考えます。

5. Aクラス・Bクラス別とAB混合の競技会ルール

- ・Aクラス・Bクラス別とAB混合の競技会ルールを、明確にする。

AB混合の競技では南コース2番ショートホール、BクラスOB時の前進3打目認めない。となったが、ラストコールも同じように採用するのでしょうか？

最近のラストコールは参加者も少なくない、アトラクションも少なくなりました。例会には参加しないが、これだけは参加する会員もいます。

月例でAクラス65歳以上が青ティでプレーするとき、ハンデ(-3)にしているが、混合競技のAクラス65歳以下が青ティでのプレー時はハンデ(-3)を採用しないのですか？

レディース杯も同様と思います。

6. 月例等の、競技委員の組合せ

- ・当番の競技委員は、一番スタート組と最終組に入れる
人が足りない場合は、非当番の競技委員を最終組に入れる。

2. のマニュアル作成と重なるが、現在は当番の競技委員は1組目ないし早めの組でスタートしているので、後半の組でキャンセル・遅刻などがあると競技委員が対応できないので、競技委員が対応できるようにした方がよいと思います。

7. 石狩平原カントリークラブ競技会細則の掲示

- ・競技会受付近くに、競技会細則を掲示する。

競技会細則が、会報に載っているが競技会時受付近くに掲示すべきと考えます。

8. 競技委員の増員、特にBクラス在籍者

Bクラス在籍者の競技委員がすくなく増員が必要

9. 競技会参加申し込み用紙に、ハンディキャップ、使用ティ、年齢の記入欄を設ける

倶楽部側の手間をはぶくのと、使用ティとハンディキャップの増減の確認のために必要

10. 優勝者 重複の件

- ・格上位競技会優勝者は、格下位競技会への参加を辞退していただく
(クラチャン→シニア→ミッドシニア→グランドシニア)
(各競技順も決まってくる)

クラチャンは、一般会員・シニア会員・ミッドシニア会員・グランドシニア会員の中の頂点・チャンピオンであるから格下位競技会の参加を遠慮していただき、各競技会別の優勝者が出る方がよいと考えます。

シニア杯優勝者は、ミッドシニア杯・グランドシニア杯を。

ミッドシニア優勝者は、グランドシニア杯を。

1 1. 石狩平原ローカルルール

- ・プライベート時は前進ルール、ワンペナルルールをあいまいにしない
- ・公式戦以外は、全プレイヤーがローカルルールを守る

倶楽部側で前進ルール及びワンペナ（トラ杭）ルールを、手間と費用をかけて設定しています。これは、公式戦以外で全プレイヤーがルール守り、プレーの進行をはやく進めることで時間短縮になると思う。

守る人、守らない人が出てくるなら、中途半端なルール設定は必要がないと思う。

以上、提案させていただきます。

平成29年10月9日

石狩平原カントリークラブ
競技委員

高橋英美
原田真由美